

(平成 29 年 10 月試験研究業務月報)

試験研究課題： アカモク養殖産地の拡大および収穫長期化のための技術開発

研 究

収穫量アップに向けたアカモク養殖試験を開始

食用海藻であるアカモクの需要は近年高まっていますが、天然アカモクの資源量変動は大きく、その漁獲は不安定です。そこで、当センターではアカモク生産の安定と増産を目指した養殖試験に取り組んでいます。10月17日に、当センターで生産したアカモク種苗を宮津市養老地区に設置した養殖施設に沖出し※し、試験を開始しました。養殖試験では、種苗の生長や生残の状況を潜水調査により追跡し、早期刈り取りや複数回の刈り取りを行う多回収穫などを試みます。来年1～3月頃に収穫量を調査し、増産技術の効果を確認します。

※ 沖出し：陸上の施設で生産した種苗を大きく育てるため、海の養殖施設に移動させること。



アカモク種苗



アカモク種苗の沖出し

海洋センター